

お買い上げいただきありがとうございます。ご使用の前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
 この説明書は、必ず保管してください。

もくじ

安全上のご注意	P. 1
■輸送上のご注意	P. 1
■キャスター取付時のご注意	P. 1
■施工上のご注意	P. 2
■使用上のご注意	P. 2
■ファン使用時のご注意	P. 3
■コンセントバー使用時のご注意	P. 3
■各部の名称・仕様	P. 4

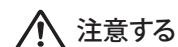
■設置方法	P. 5
■タテ連結方法	P. 6
■外装パネルの着脱方法	P. 6
■ドア左開きの変更方法	P. 8
■マウントアングルの移動方法	P. 8
■ブラインドシート(配線孔)の通線方法	P. 8
■各種オプションの取付方法	P. 9

安全上のご注意

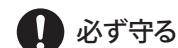
安全にお使いいただくための注意事項を説明しています。必ずお守りください。
 なお、有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。

	死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
	軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況 および物的損害の発生するおそれがある場合を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。



してはいけない



■輸送上のご注意

△注意

	ラック内に機器を搭載した状態での輸送はしないでください。ラックおよび機器が破損するおそれがあります。		本製品をベルトなどで荷台に固定する場合は、締め過ぎないでください。特に締め過ぎを認識できないレバーブロックなどの荷締器具は使用しないでください。締め過ぎにより、ドア・側板などの変形やヒンジ部の破損の原因になります。
--	--	--	---

■キャスター取付時のご注意

△警告

	本製品にキャスターを取り付ける場合は、キャスター適正荷重およびラック搭載可能質量を超えないようにしてください。 転倒・破損・変形の原因になります。 【RD72-4(S)】適正荷重：175kg(4個使用の場合、製品質量を含む) 【RD72-5(S)】適正荷重：180kg(4個使用の場合、製品質量を含む) 【RD72-6(S)】適正荷重：240kg(4個使用の場合、製品質量を含む) (製品質量はカタログを参照)
--	--

△注意

	キャスターのストッパーを手で操作する際は、可動部に指を挟まないよう注意してください。けがの原因になります。		設置後は、必ずキャスターのストッパーをONにしてください。転倒・破損の原因になります。
--	---	--	---

■施工上のご注意

⚠ 警告

 アースせよ	アース端子を利用して、アース接続を必ず行ってください。 感電の原因になります。		配線は適切な電線・圧着端子および圧着工具を使用してください。発熱・火災のおそれがあります。
	アンカーボルトは必ず M10 を使用してください。 地震などで転倒・破損の原因になります。		電源コードまたはケーブルを配線する際は、適正締付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、発熱・火災・感電の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。
	電気工事(取付・施工)は有資格者が行ってください。 故障・感電・けがの原因になります。		電気工事は「電気設備技術基準」および「内線規程」を厳守してください。故障・感電・けがの原因になります。

⚠ 注意

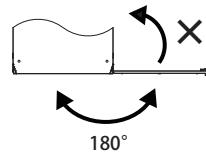
	ラック本体が水平に設置できるように、レベル調整を行ってください。 ドアの開閉や機器の搭載に支障をきたすおそれがあります。
---	---

■使用上のご注意

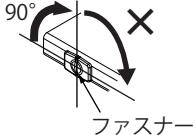
⚠ 警告

	機器をスライドレールなどにより引き出す際は、2段以上同時に引き出さないでください。転倒・破損・変形の原因になります。		重量物を搭載する際は、2人以上で作業してください。 また、適切な保護具を着用してください。けがの原因になります。
	重量物は低い位置に設置し、重心位置を低くしてください。 重量物をスライドレールなどにより引き出した場合、転倒・破損・変形の原因になります。		保守・点検は専門知識を有する人が定期的に行ってください。故障・感電・けがの原因になります。

⚠ 注意

 指に注意	ドアの着脱を行う際は、ドアとラック本体の間に指を挟まないよう注意してください。けがの原因になります。 機器をスライドレールなどにより引き出したり、収納したりする際は、機器とボディーの間に指を挟まないよう注意してください。けがの原因になります。		本製品を横倒しの状態で機器を搭載しないでください。 また、機器を搭載した状態で横倒しにしないでください。 変形・機器の破損の原因になります。
	次のような場所では使用しないでください。 故障の原因になります。 <ul style="list-style-type: none">・高温、高湿となる場所・腐食性ガスのある場所・振動、衝撃のある場所・可燃性ガスのある場所・塵埃やオイルミストが多い場所・ノイズ(電界・磁界)の強い場所・水滴のかかる場所・導電性粉塵(カーボン繊維・金属粉など)のある場所		ドアの開閉角度は約 180°です。扉を開けた状態で、矢印方向にさらに荷重を掛けないでください。ドアおよびヒンジ部の変形・破損の原因になります。  180°
	本製品に落下などの強い衝撃を与えないでください。 衝撃により破損・へこみ・歪みが発生し、強度低下の原因になります。		シリンダーにキーを差した状態で、キーに強い衝撃や荷重を掛けないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。
	天井面へは局部的な荷重をかけないでください。 変形の原因になります。		シリンダーにキーを抜き差ししながら回転動作は行わないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。
	本製品の上に乗ったり、もたれ掛かったりしないでください。 破損・転倒・けがの原因になります。		シリンダーの施錠・解錠位置以外では、キーを無理に引き抜かないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。
			簡易台板へ局所的あるいは偏った荷重をかけないでください。破損・変形の原因になります。 簡易台板 搭載可能質量 : 40kg

⚠ 注意

 <p>台板取付用ファスナーは 90°以上回さないでください。 破損の原因になります。</p>	 <p>90° ファスナー</p>	 <p>機器を前面のマウントアングルのみで固定する場合は、 機器の質量が1Uあたり5kg以下としてください。5kgを超える場合はマウントレール【RD66】・L型レール【RD65】などを併用して、固定してください。 ※機器の質量が5kg以下であっても形状(奥行寸法)や重心位置、 施工時の取り扱いなどによって機器後部が下がる場合があります。</p>											
 <p>ラック搭載可能質量を超えないようにしてください。 落下・破損・変形の原因になります。 ラック搭載可能質量：100kg(天井部含む) 50kg(キャスターを内側取付穴に取り付けの場合・天井部含む) 天井部搭載可能質量：FVK・FVKN・FVK-T・FVKP-T 15kg FVKD・FVKDN 50kg</p>		<p>搭載した機器は、必ず固定してください。地震などで機器の落下・破損の原因になります。</p>											
 <p>使用するねじやボルトは、指定されたものを使用してください。取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>ねじの呼び</th> <th>適正締付トルク N·m*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M 4</td> <td>1.5 ~ 2.0</td> </tr> <tr> <td>皿ばねワッシャー付ナット M5</td> <td>1.5 ~ 2.0</td> </tr> <tr> <td>M 5</td> <td>2.9 ~ 3.9</td> </tr> <tr> <td>M 8</td> <td>7.8 ~ 10.8</td> </tr> <tr> <td>M10</td> <td>19.6 ~ 29.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>*ただし、Sタイトねじにおいて締め付け時の初期トルクはこの限りではありません。</p>	ねじの呼び	適正締付トルク N·m*	M 4	1.5 ~ 2.0	皿ばねワッシャー付ナット M5	1.5 ~ 2.0	M 5	2.9 ~ 3.9	M 8	7.8 ~ 10.8	M10	19.6 ~ 29.4	 <p>シリンダーの施錠・解錠する頻度が多い場合は、キー・シリンドラーに定期的に鍵用潤滑剤を塗布してください。キーの抜き差しが硬くなるおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 潤滑剤を使用しない場合の施解錠寿命は、約1万回です。 キー・シリンドラーの磨耗により交換が必要な場合は、別途ご用命ください。 <p>ドアの着脱を行う際は、ドア下部のヒンジのピンが確実に差し込まれていることを確認の上、ドア上部のヒンジのレバー操作をしてください。ドアの脱落・破損の原因になります。</p>
ねじの呼び	適正締付トルク N·m*												
M 4	1.5 ~ 2.0												
皿ばねワッシャー付ナット M5	1.5 ~ 2.0												
M 5	2.9 ~ 3.9												
M 8	7.8 ~ 10.8												
M10	19.6 ~ 29.4												

■ ファン使用時のご注意

⚠ 警告

 <p>けがのおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ファンガーガードを取り外したまま運転をしないでください。 ファン回転部に指や異物などを絶対に入れないでください。 保守点検時は(ファンの回転を点検する場合を除き)必ず電源をOFFにし、ファンの羽根の回転が停止してから行ってください。 	 <p>異常時(焦臭いなど)は電源をOFFにし、運転を停止してください。感電・火災の原因になります。</p>
	<p>定格電圧でご使用ください。使用電圧は定格電圧の±10%以内です。電源電圧が変動した場合でも使用電圧を超えないようにしてください。故障・感電・火災の原因になります。</p>

■ コンセントバー使用時のご注意

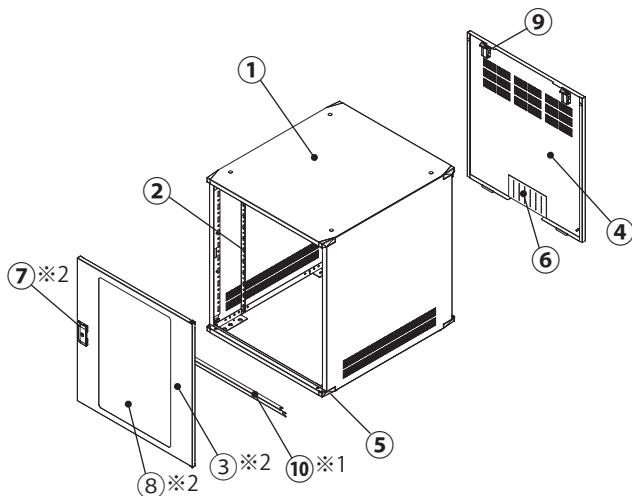
⚠ 警告

 <p>分解をしないでください。 感電・火災の原因になります。</p>	 <p>二重三重のたこ足配線はしないでください。プラグが抜けやすくなり、発熱して火災の原因になります。</p>
 <p>被覆に傷が付いた状態での使用や、濡れた手でのプラグの抜き差しはしないでください。感電の原因になります。</p>	 <p>刃の曲がったプラグは使用しないでください。 火災の原因になります。</p>
 <p>電源コードまたはケーブルの引張り・はさみ・無理な曲げ・ねじり・傷付け・加工・加熱・重いものを載せるなどしないでください。断線して火災の原因になります。</p>	 <p>電源コードまたはケーブル・プラグ・コンセントが破損したままの状態で使用しないでください。感電・火災の原因になります。</p>
 <p>定格電流・定格電圧を超えて使用しないでください。 過熱して火災の原因になります。</p>	 <p>定期的にプラグの表面や差込部を掃除してください。 火災の原因になります。</p>
 <p>プラグの差し込みが浅い状態で使用しないでください。 感電・火災の原因になります。</p>	 <p>必ずプラグを持ってまっすぐに引き抜いてください。 内部の電線が切れて、焼損・火災の原因になります。</p>
 <p>電源コードまたはケーブルを束ねての使用は避けてください。 過熱して火災の原因になります。</p>	

■各部の名称・仕様

【経済型スタンダードタイプ FVK】

【経済型ドアなしタイプ FVKN】

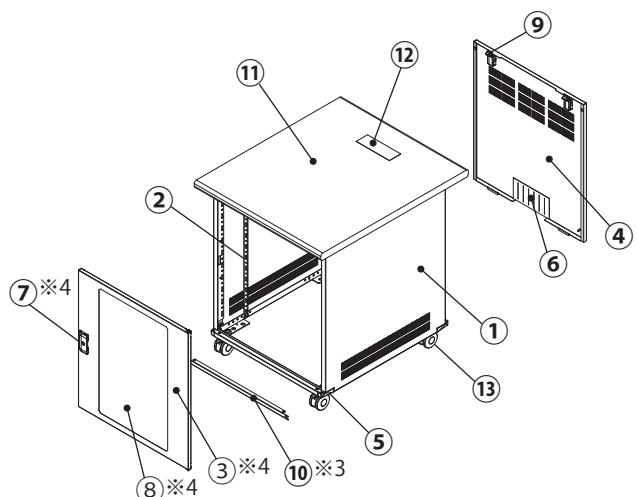


※1. FVKN-E のみ適用

※2. FVK のみ適用

【デスクタイプ FVKD】

【ドアなしデスクタイプ FVKDN】

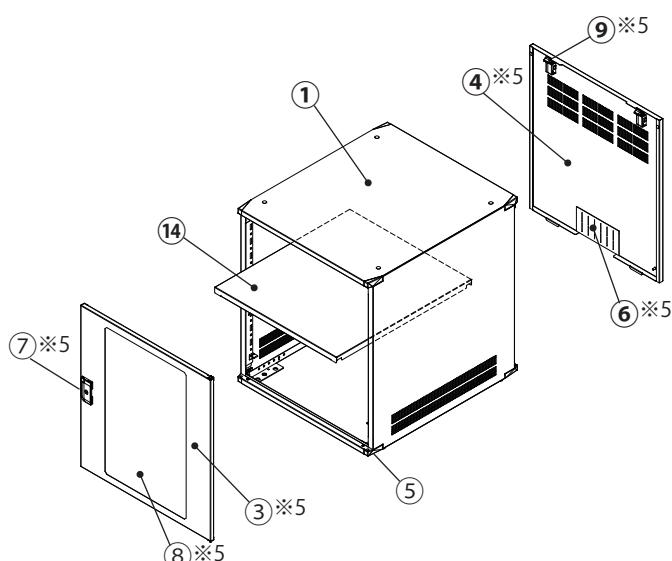


※3. FVKDN-E のみ適用

※4. FVKD のみ適用

【台板タイプ FVK-T】

【オープン台板タイプ FVKP-T】



※5. FVK-T のみ適用

番号	部品名	材質	板厚 mm	数量
①	ボディー	鉄	0.8/2.3	1コ
②	マウントアングル	〃	2.3	2コ
③	ドア	〃	0.8	1コ
④	背面板	〃	〃	1コ
⑤	コーナーカバー	ABS	—	8コ
⑥	プラインドシート	PE/PET	—	1コ
⑦	ラッチハンドル	ABS	—	1コ
⑧	ドアパネル	PMMA	2.0	1コ
⑨	スライドラッチ	PP/POM	—	2コ
⑩	調整パネル	鉄	0.8	1コ
⑪	甲板	鉄(メラミン化粧板付)	0.7/0.8/1.2	1コ
		ABS	—	
⑫	配線孔キャップ	〃	—	1コ
⑬	キャスター	鉄/ナイロン	—	4コ
⑭	簡易台板	鉄	0.8	1コ

●付属品

名称	数量						備考
	FVK	FVKN	FVKD	FVKDN	FVK-T	FVKP-T	
キー	1コ	—	1コ	—	1コ	—	ドア施錠用
六角ナット M10	4コ	4コ	4コ	4コ	4コ	4コ	レベルフット取付用
棚受金具	—	—	—	—	4コ	4コ	簡易台板取付用
取扱説明書(本紙)	1部	1部	1部	1部	1部	1部	—

ご注意

- ボディーは全溶接構造ですので、分解や現地組立はできません。
- 組替仕様・オプション実装(同送)・個別対応により、付属品の数量・種類などを変更する場合があります。
- 化粧ねじ【RD75】は付属されていませんので、別途ご用意ください。

■設置方法

⚠ 警告



アンカーボルトは必ず M10 を使用してください。
地震などで転倒・破損の原因になります。

⚠ 注意



ラック本体が水平に設置できるように、レベル調整を行ってください。
ドアの開閉や機器の搭載に支障をきたすことがあります。

【対象機種：FVK・FVKN・FVK-T・FVKP-T】

- ラック本体底面の取付穴にあるプラット（4か所）を \ominus ドライバーなどを利用し、ラック内側からプラットの中央部を押して取り外してください。（図1）
- ラック本体底面のアンカーボルト取付穴（ $\phi 12$ 4か所）に、アンカーボルト M10 で床面に固定してください。（図3）

【対象機種：FVKD・FVKDN】

- ラック本体底面にあるキャスター（4か所）を取り外してください。（図2）
- ラック本体底面のアンカーボルト取付穴（ $\phi 12$ 4か所）に、アンカーボルト M10 で床面に固定してください。（図3）

ボルト径	最小埋込深さ mm
M10	45

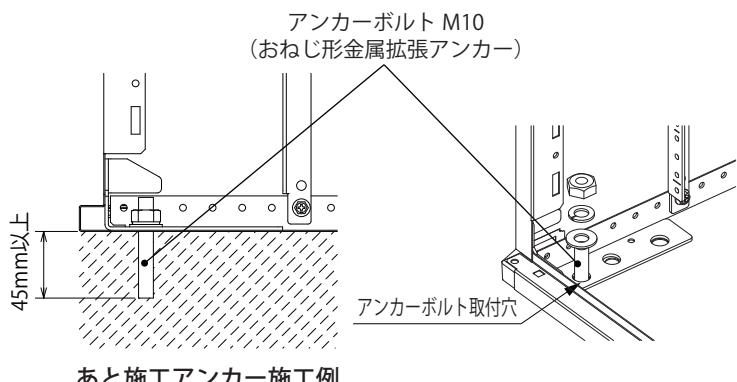
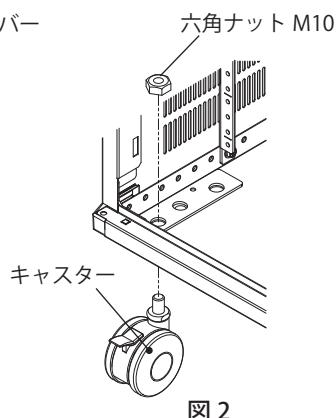
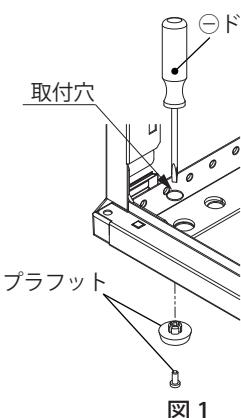


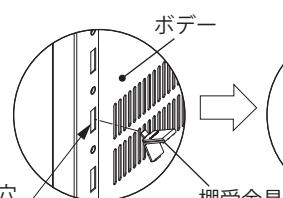
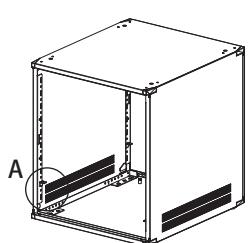
図3

●簡易台板の取付方法

【対象機種：FVK(P)-T】

簡易台板を増設する場合は、簡易台板セット【RD154-VT】を別途ご用意ください。

- ボディーの角穴（4か所）に付属の棚受金具を取り付けてください。（図4）
- 棚受金具（4か所）に簡易台板を載せてください。（図5）



A 部詳細

図4

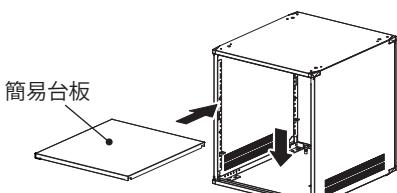
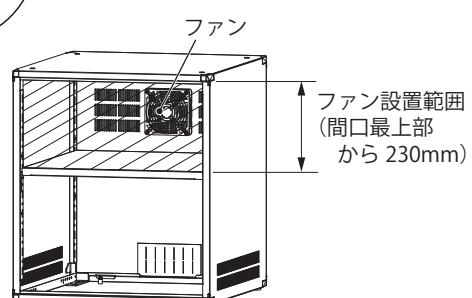


図5



ご注意

- ファンを設置した場合、ファン設置範囲（間口最上部から 230mm）は台板の設置ができません。
- 簡易台板はねじ固定されていません。キャスターを取り付けて移動する際や、ラックを持ち上げて移動する際、簡易台板や搭載物が落下するおそれがあります。

⚠ 注意



- 簡易台板へ局所的あるいは偏った荷重をかけないでください。
破損・変形の原因になります。
- 簡易台板 搭載可能質量：40kg

■タテ連結方法

【対象機種：FVK・FVKN・FVK-T・FVKP-T】

連結に使用する六角ボルト M8×20・六角ナット M8・ばね座金 8（各 4 収）・平座金 8（8 収）は、別途ご用意ください。

- ラック本体底面の取付穴にあるプラット（4か所）を \ominus ドライバーなどを利用して、ラック内側からプラットの中央部を押して取り外してください。（図 6）
- ラック内側から連結面のホールプラグ（4か所）を指で押しながら、ラック外側のホールプラグの爪部（2か所）を \ominus ドライバーで押して取り外してください。（図 7）
- ラック天井面と底面の連結穴（ $\phi 10$ 4か所）に、六角ボルト M8×20・六角ナット M8・ばね座金 8・平座金 8を取り付けてください。（図 8）

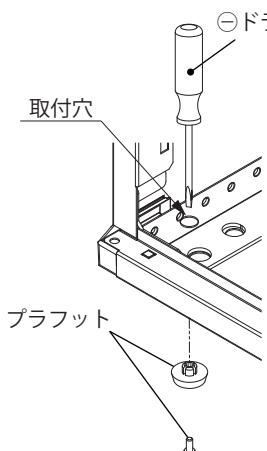


図 6

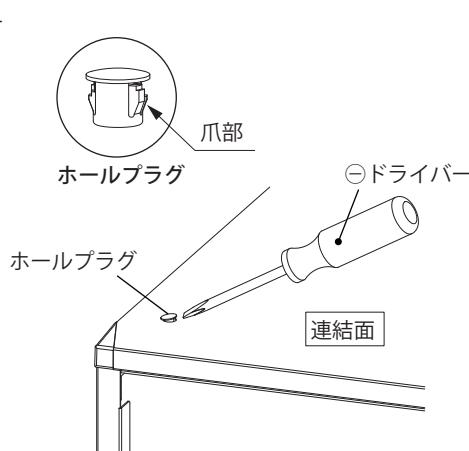


図 7

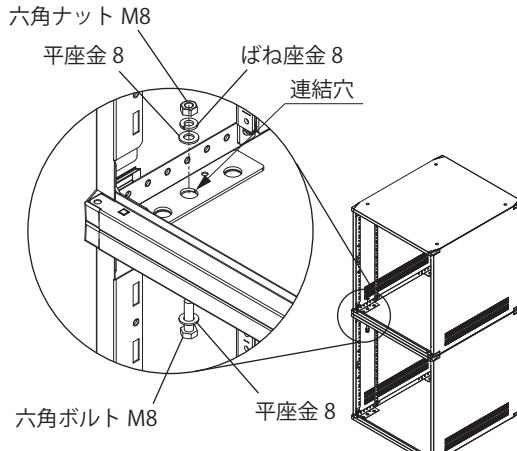


図 8

ご注意

- 高さは、2台合計 1600mm 以下としてください。
- 搭載可能質量は、2台合計 100kg です。
- 重量物は下段のラックに搭載し、重心位置を低くしてください。
- アンカーボルト固定など転倒防止対策を施してください。

⚠ 注意



取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。
締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。
また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N·m
M8	7.8 ~ 10.8

■外装パネルの着脱方法

● ドアの着脱方法

- ドアを開けた状態で、上部のヒンジのレバーを下にさげてください。（図 9）
- ドア全体を斜め上に持ち上げ、ドアを取り外してください。（図 10）
- ドアの取り付けは、逆の手順で行ってください。

ご注意

- ドアの取り付けは、ドア下部のピンが確実に取付穴に入っていることを確認してから、ドア上部のピンを差し込んでください。
- ドア取り付け後、ヒンジ（上部・下部）のレバーを横にスライドさせて、ドアが外れないか、がたつきがないかを確認してください。（図 11）

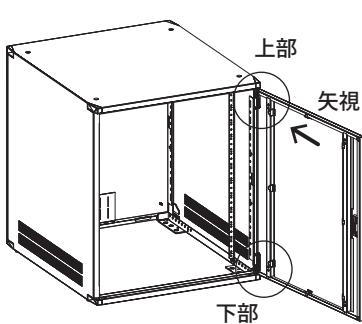


図 9 上部

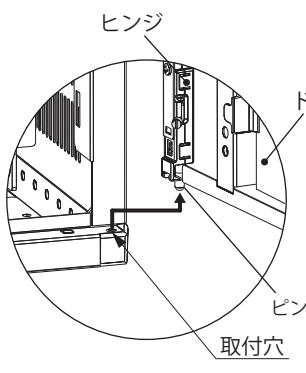
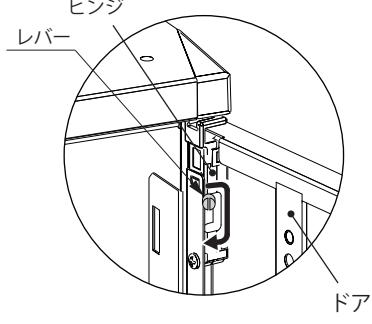


図 10 下部

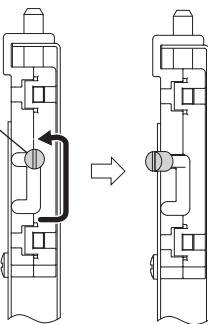
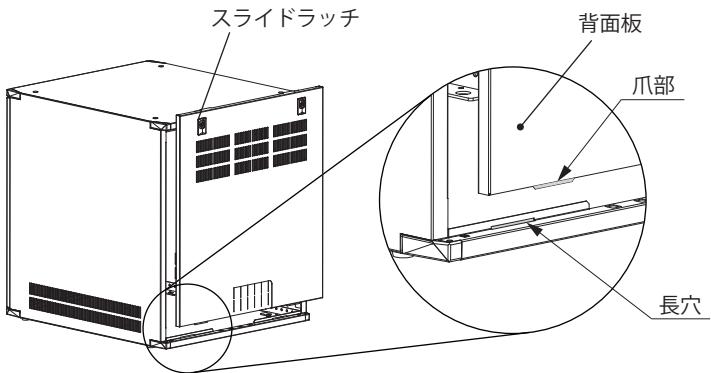


図 11 矢視図

●背面板の着脱方法

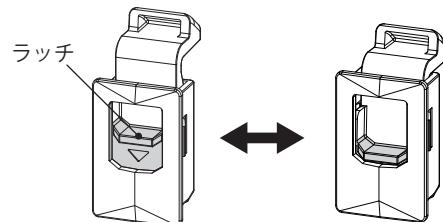
- 背面板のスライドラッチを操作して取り外してください。(●スライドラッチの操作方法を参照)
- 背面板全体を手前へ倒し、上へ持ち上げて下部の爪部(2か所)をボディーの長穴から抜いて、背面板を取り外してください。
- 取り付けの場合は、逆の手順で行ってください。



●スライドラッチの操作方法

背面板の着脱は、スライドラッチで行います。

- ラッチを下げるとき、外装パネルを取り外すことができます。
- ラッチを上げると、外装パネルを固定することができます。

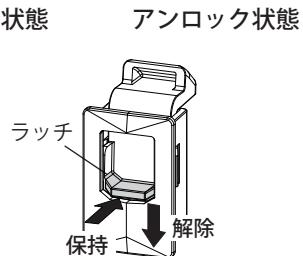


ラッチをアンロック状態に保持できる機能が付いています。

- ラッチを下げ、奥に押し込むとアンロック状態を保持することができます。
- アンロック状態からさらに下に押すと解除することができます。

ご注意

外装パネルを取り付けた後に、ラッチがロック状態となり確実に掛かっているか確認してください。



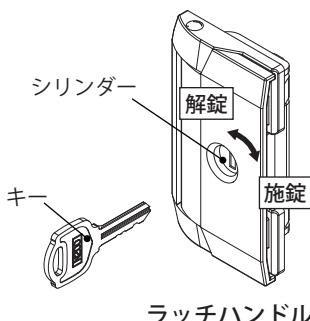
アンロック保持・解除方法

●ラッチハンドルの施錠・解錠方法

- ラッチハンドルのシリンダー部にキーを奥まで差し込んでください。
- 右回りで施錠、左回りで解錠してください。

ご注意

- 施錠操作後に、確実にロックされていることを確認してください。
- キーの抜き差しは、所定の位置でゆっくりと確実に行ってください。
- また、キーを完全に差し込まない状態での回転動作は行わないでください。



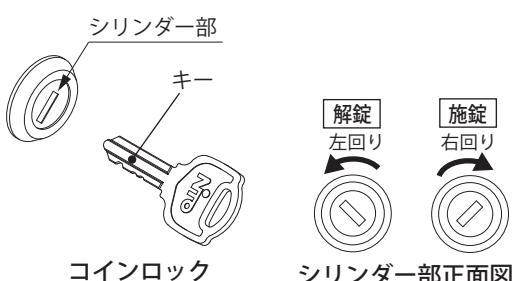
ラッチハンドル

●コインロックの施錠・解錠方法

- コインロックのシリンダー部にキーを奥まで差し込んでください。
- 右回りで施錠、左回りで解錠されます。

ご注意

- 施錠操作後に、確実にロックされていることを確認してください。
- キーの抜き差しは、所定の位置でゆっくりと確実に行ってください。
- また、キーを完全に差し込まない状態での回転動作は行わないでください。



コインロック

シリンダー部正面図

⚠ 注意

シリンダーにキーを差した状態で、キーに強い衝撃や荷重を掛けないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。



シリンダーにキーを抜き差ししながら回転動作は行わないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。

シリンダーの施錠・解錠位置以外では、キーを無理に引き抜かないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。

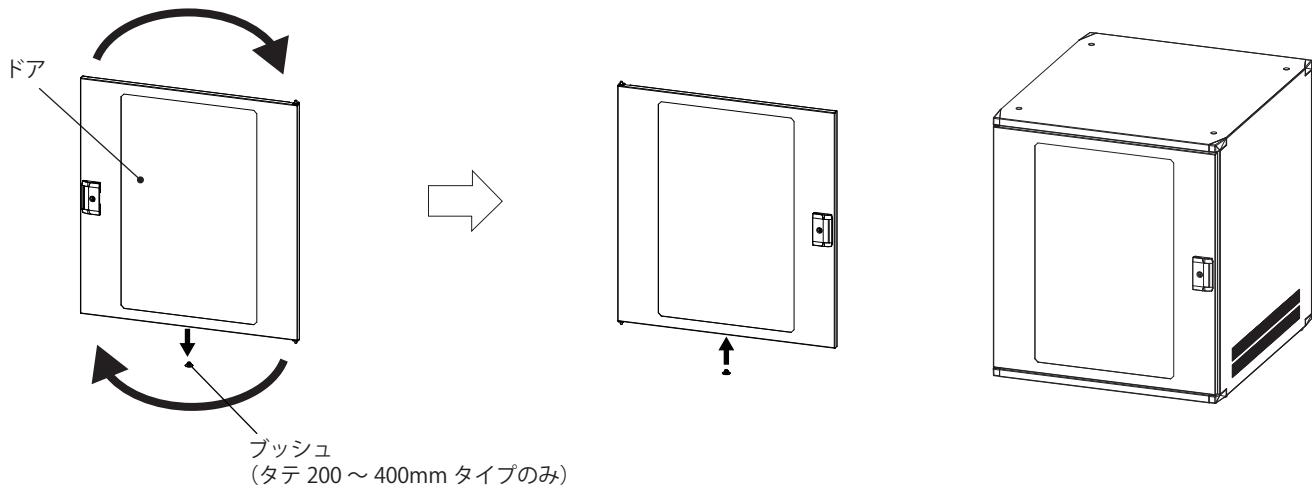


シリンダーの施錠・解錠する頻度が多い場合は、キー・シリンダーに定期的に鍵用潤滑剤を塗布してください。キーの抜き差しが硬くなるおそれがあります。

- 潤滑剤を使用しない場合の施解錠寿命は、約1万回です。
- キー・シリンダーの磨耗により交換が必要な場合は、別途ご用命ください。

■ドア左開きの変更方法

1. ドアを取り外してください。(P.6「●ドアの着脱方法」を参照)
2. ドアを上下反転させてください。(図 12)
【ご注意】タテ 200 ~ 400mm タイプのドアは、下部にあるブッシュを取り外し、ドアを反転後、下部に取り付けてください。
3. ドアを取り付けてください。(P.6「●ドアの着脱方法」を参照)

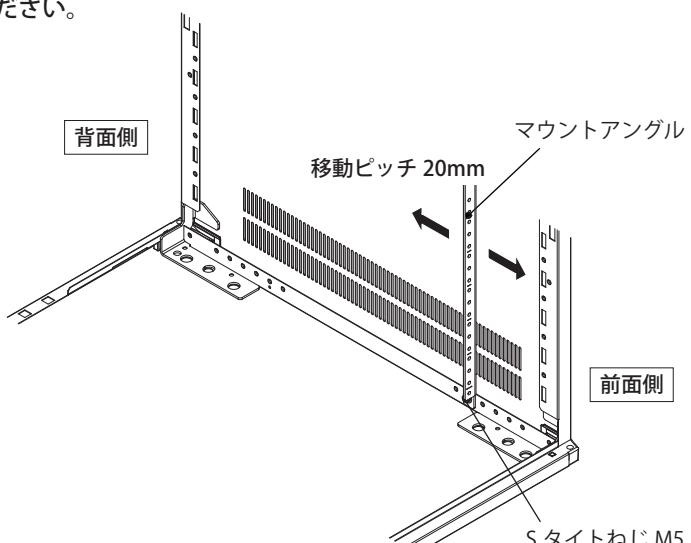


■マウントアングルの移動方法

機器の寸法に合わせて、マウントアングルを移動して調整してください。

【対象機種：FVK・FVKN・FVKD・FVDKN】

マウントアングルのSタイトねじM5(4か所)を取り外して、マウントアングルを移動(移動ピッチ 20mm)してください。



⚠ 注意



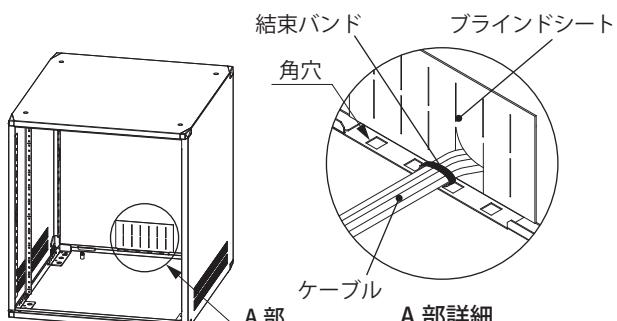
取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。
締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。
また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N·m※
M5	2.9 ~ 3.9

※ただし、Sタイトねじにおいて締め付け時の初期トルク
はこの限りではありません。

■ブラインドシート(配線孔)の通線方法

背面のブラインドシートは、はさみやカッターナイフなどで切り込みを入れてケーブルを通線してください。
ケーブルは、底板の角穴を利用して結束バンドなどで固定することができます。



■各種オプションの取付方法

●マウントレール【FVK用】【RD66-□EV(JV)】

- 「表1」のオプションサイズに合わせて、マウントレールの取付位置を決めてください。
- マウントレール(R)(L)を付属のSタイトねじM5(各2か所)で固定してください。

ご注意

マウントレール端部にある上下識別の切り欠きを下にして固定してください。

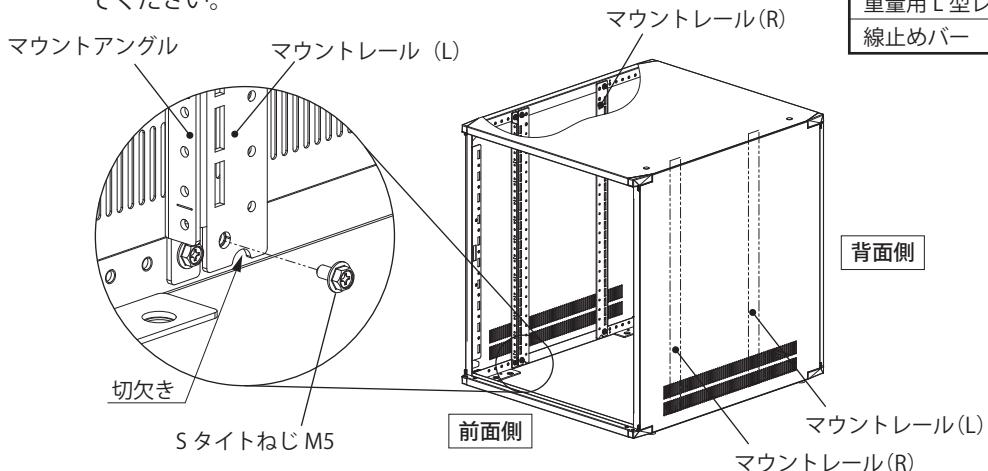


表1

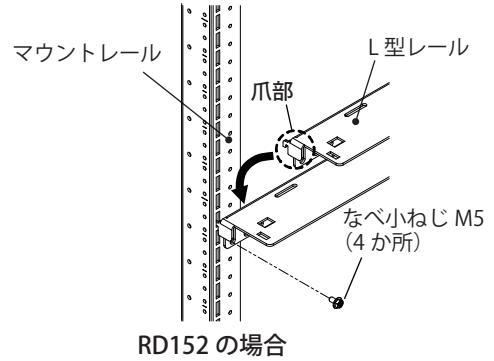
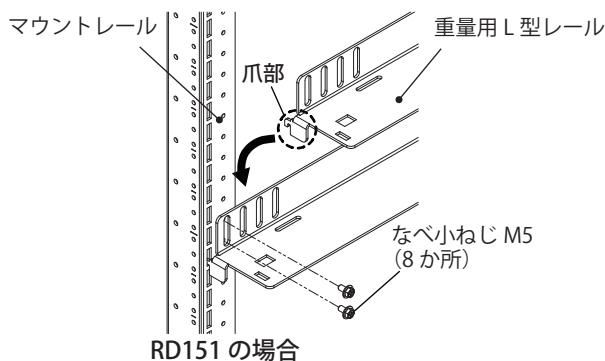
製品名	品名記号
重量用台板セット	RD151
スリット付台板セット	RD152
重量用スライド式台板セット	RD161
スリット付スライド式台板セット	RD162
山型レール	RD62
L型レール	RD65
重量用L型レール	RD651
線止めバー	RD83

●重量用台板セット【RD151-□SN(K)】・スリット付台板セット【RD152-□SN(K)】

1. 重量用L型レール・L型レールの取付

重量用L型レール・L型レールの爪部をマウントレールの角穴に引っ掛け、付属のなべ小ねじM5で固定してください。

ご注意 マウントレールに番号が印字されています。前後左右で同じ番号の位置に取り付いているか確認してください。

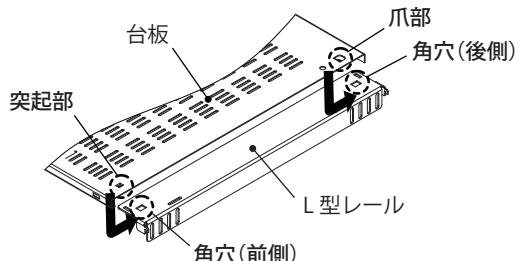


2. 台板の取付

※図はRD152を示します。RD151も同様に取り付けてください。

- 台板の爪部をL型レールの角穴(後側)に差し込んで、位置決めしてください。

- 台板の突起部とL型レールの角穴(前側)の位置が合うように、台板を置いてください。



△注意



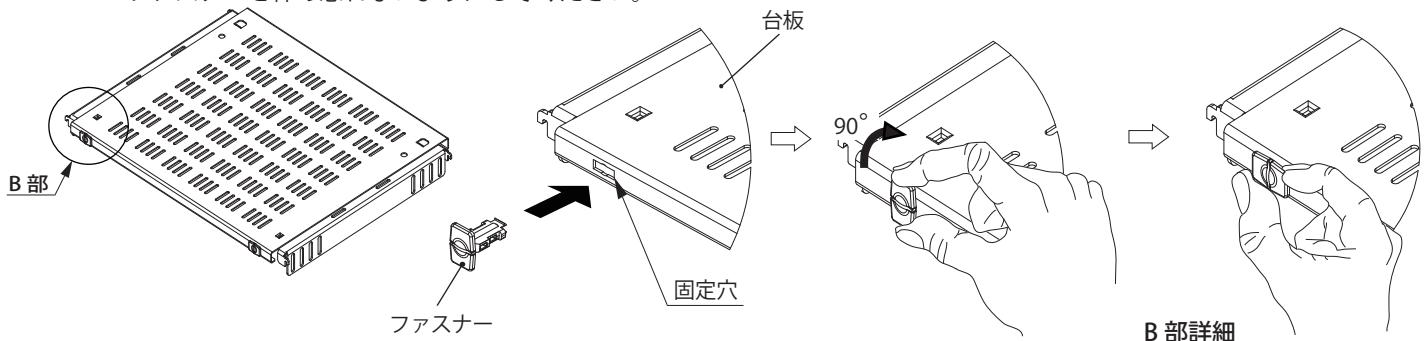
取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N·m
M5	2.9 ~ 3.9

③付属のファスナーを台板前面の固定穴に差し込み、右回りに90°回して固定してください。
ファスナーの回転は、θドライバーなどでも操作可能です。

ご注意

ファスナーを締め忘れないようにしてください。

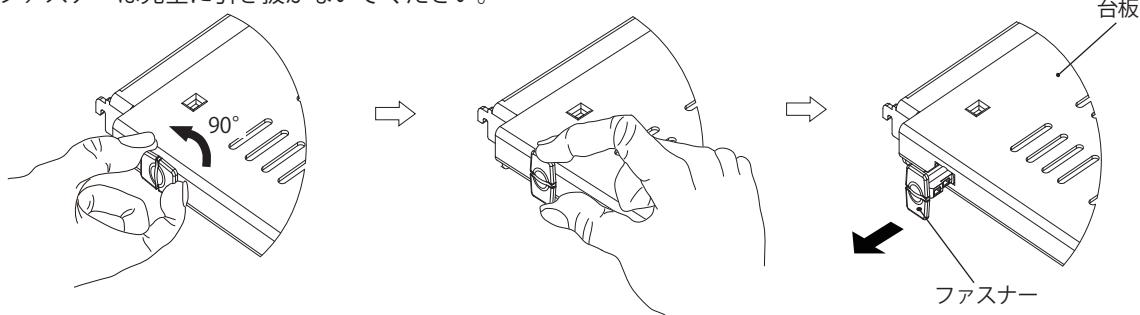


④台板を外す際は、ファスナーを左回りに90°回して固定を解除してください。

⑤ファスナーは前面に引いた状態で、台板を取り外してください。

ご注意

ファスナーは完全に引き抜かないでください。

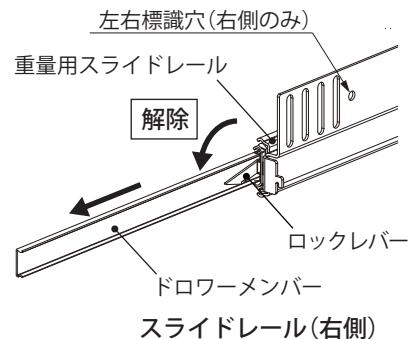


●重量用スライド式台板セット【RD161-□ES(K)】

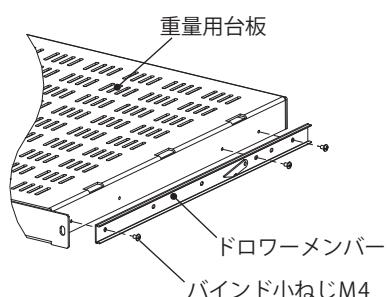
1. スライドレールの取付

①重量用スライドレールからロックを解除して、ドロワーメンバーを取り外してください。

重量用スライドレールの右側はロックレバーを下げて、左側はロックレバーを上げてロックを解除してください。



②ドロワーメンバーを重量用台板に付属のバインド小ねじM4で固定してください。

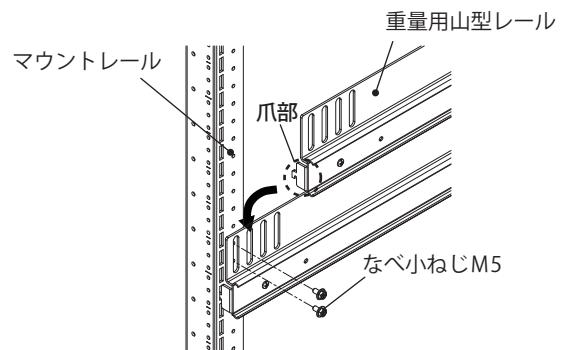


2. 山型レールの取付

重量用山型レールの爪部をマウントレールの角穴に引っ掛けて、付属のなべ小ねじM5(8か所)で固定してください。

ご注意

マウントレールに番号が印字されています。前後左右で同じ番号の位置に取り付いているか確認してください。



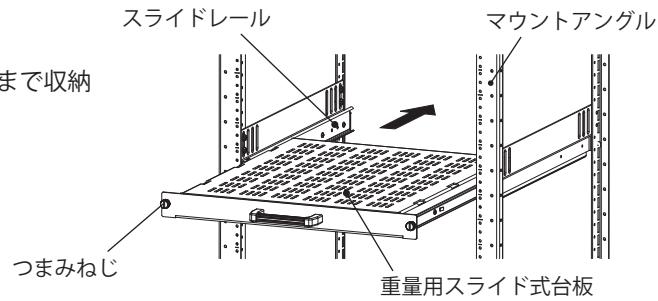
3. 重量用スライド式台板の取付

重量用スライド式台板を重量用スライドレールに挿入して奥まで収納して、つまみねじでマウントアングルに固定してください。

ご注意

最初の挿入時は動きが硬く感じる場合があります。

数回の出し入れを繰り返しながら徐々に押し込んでください。

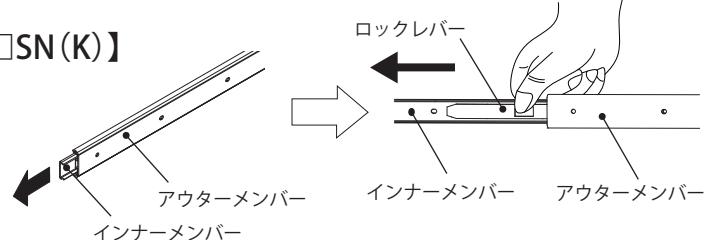


●スリット付スライド式台板セット【RD162-□SN(K)】

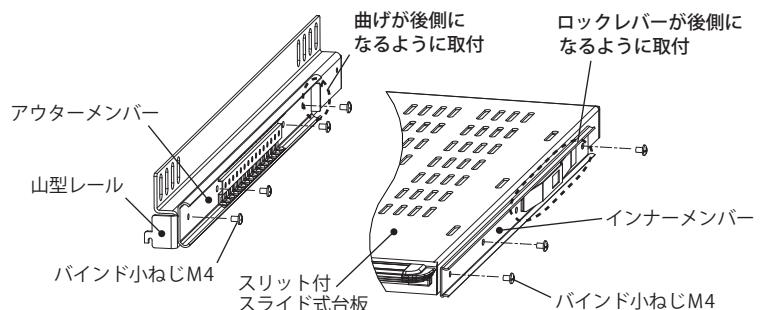
1. スライドレールの取付

①アウターメンバーからインナーメンバーを引き出してください。

ロックレバーを押し込んでロックを解除して、インナーメンバーをアウターメンバーから取り外してください。



②山型レールにはアウターメンバー、スリット付スライド式台板にはインナーメンバーを、各々付属のバインド小ねじ M4(14か所)にて固定してください。

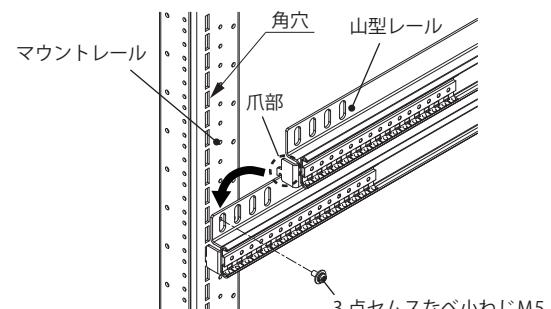


2. 山型レールの取付

山型レールの爪部をマウントレールの角穴に引っ掛けて、付属の3点セムスなべ小ねじ M5(4か所)にて固定してください。

ご注意

前後左右で同じ高さの位置に取り付いているか確認してください。



3. スリット付スライド式台板の取付

①アウターメンバーのリテナーを前面側へ移動してください。

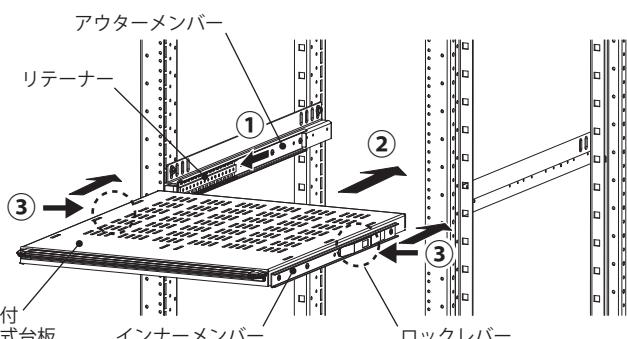
②スリット付スライド式台板のインナーメンバーをアウターメンバーに挿入してください。

③インナーメンバーのロックレバーを左右同時に押し込みながらスリット付スライド式台板をロックが掛かるまで奥に収納してください。

ご注意

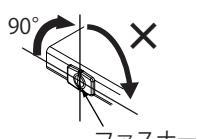
最初の挿入時は動きが硬く感じる場合があります。

数回の出し入れを繰り返しながら徐々に押し込んでください。



⚠ 注意

台板取付用ファスナーは
90°以上回さないでください。
破損の原因になります。



取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。
締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。
また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N·m
M4	1.5 ~ 2.0
M5	2.9 ~ 3.9

●キャスター【RD72-4(S)・5(S)・6(S)】

ラック本体底面の4コナーにあるキャスター外側取付穴φ12(4か所)に付属の六角ナットM10で取り付けてください。キャスターとレベルフットを同時取り付けする場合は、キャスター内側取付穴φ12を使用してください。

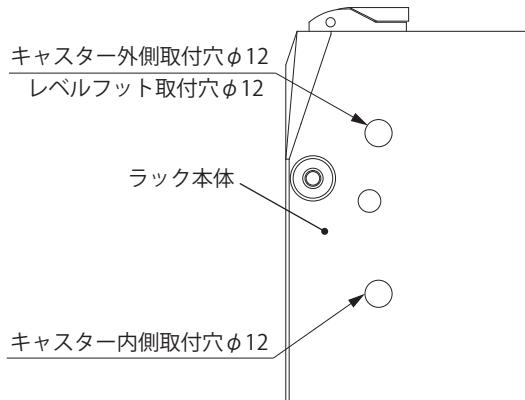
△注意

キャスターとレベルフット同時取り付けする場合は、【RD72-5(S)】+【RD73-6A】を推奨です。

△注意



ラック搭載可能質量を超えないでください。
落下・破損・変形の原因になります。
ラック搭載可能質量：100kg
50kg(キャスターを内側取付穴に取り付けの場合)



●レベルフット【RD73-6A】

【対象機種：FVK・FVKN・FVK-T・FVKP-T】

ラック本体底面の4コナーにあるレベルフット取付穴φ12に、ラックに付属の六角ナットM10で取り付けてください。

●背面板へのファン(□120mm)

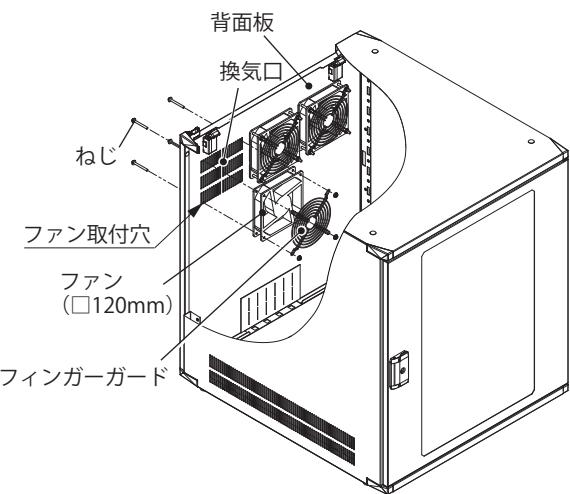
【対象機種：FVK・FVKN・FVKD・FVKDN・FVK-T】

背面板内側からファン(□120mm)、フィンガーガードの順番で換気口へファン取付穴(φ4.5)を利用してねじ止め固定をしてください。
背面板へのファン取付可能数は3コです。

△注意

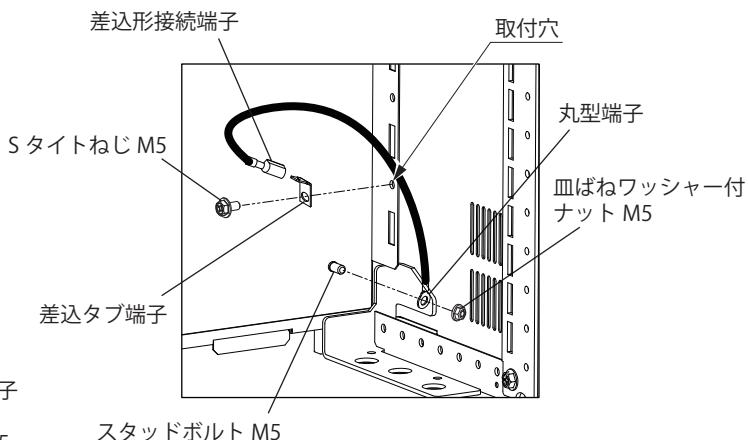
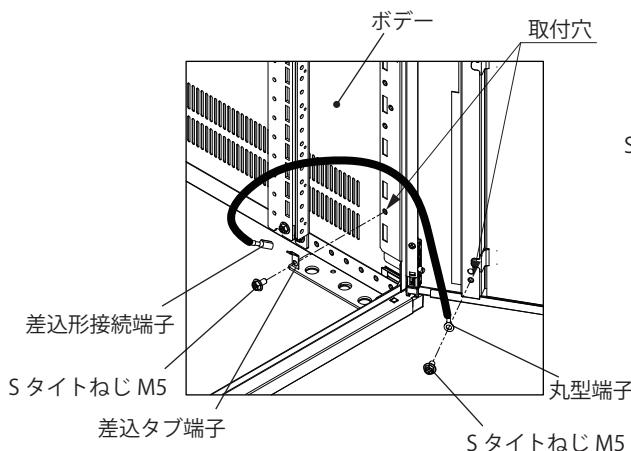


けがのおそれがあります。
・フィンガーガードを取り外したまま運転をしないでください。
・ファン回転部に指や異物などを絶対に入れないでください。
・保守点検時は(ファンの回転を点検する場合を除き)必ず電源をOFFにし、ファンの羽根の回転が停止してから行ってください。



●アース線【RD891-20C】

1. ラック本体のボーダーの取付穴(φ4.6)へ、差込タブ端子を付属のSタイトねじM5で取り付けてください。
2. 外装パネルの取付穴(φ4.6)またはスタッドボルトM5へ、アース線の丸型端子側を付属のSタイトねじM5または皿ばねワッシャー付ナットM5で取り付けてください。
3. アース線の差込形接続端子を、1.でボーダーに取り付けた差込タブ端子に接続してください。



△注意



取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。
締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m※
皿ばねワッシャー付ナット M5	1.5 ~ 2.0
M5	2.9 ~ 3.9

※ただし、Sタイトねじにおいて締め付け時の初期トルクはこの限りではありません。

お問い合わせ先

ご不明な点がありましたら弊社お客様相談センターにお問い合わせください。

TEL (0561) 64-0152

<受付時間> 8:30 ~ 12:00, 13:00 ~ 17:30 (土・日・祝日は休み)

本製品の故障や瑕疵により、当社の予見の有無を問わず生じた二次損害について、当社は一切の責任を負いかねます。
仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

2026年1月

B889454924